

石垣牛流通協議会（植村光一郎会長）は5月22日、東京都新宿区の新宿住友スカイルームにおいて2026年度石垣牛流通協議会総会を開催した。

開催にあたり植村会長は、設立5周年を迎えた同協議会のこれまでの歩みを簡単に紹介したのち「石垣牛と地域の活性化について、これからさらに5年間取り組んでいきたいと思います」と述べた。

総会には農林水産大臣経験者で同協議会設立にも尽力した林芳正総務大臣も来賓として出席。「石垣牛の輪が広がり、ファンの皆様に石垣牛が愛されていたことを大変嬉しく思っています。生産者の方々の状況は聞いておりますけども、地方は農林水産業がないと、なかなか発展が難しいわけですので、この素晴らしい石垣牛が発展するようこれからも応援していきたいと思います」と挨拶した。

総会では提出された議案が全て滞りなく可決。続いて、農林水産省食肉鶏卵課の藤谷洋平課長補佐による「牛肉輸出の現状とこれからの方向性」と題した記念講演が行われた。総会には100名近い関係者が参集し、石垣牛の発展に向け決意を新たにしていた。



挨拶を行う林芳正総務大臣